

2024年6月24日

第37回 国際オープン韓国社会人剣道大会レポート

NPO 法人 国際社会人剣道クラブ
中国地区クラブ 幹事長 寺本 昭彦

2024年6月8日・9日にわたり韓国ソウル（オリンピック SK ハンドボール競技場）で開催されました標記韓国大会に参加しました。その概要を以下のとおりご報告いたします。

大会には、韓国内外からの参加総数1,200名が参加し、そのうち約40名が海外からの参加者でした。日本・当クラブからは、曾根理事長を団長に16名が参加しました。海外からの参加国は、日本の他、台湾、アルゼンチンなどでした。今回の大会は、7月4日～7日にイタリア（ミラノ）で第19回世界剣道選手権大会が開催されるため、1ヶ月前倒して開催されたこともあり、参加者数が少なくなってようです。試合会場は昨年と同様に8会場が使用されました。

当クラブ選手一同は、6月7日（金）にソウルに到着し、大会会場での合同練習に参加しました。その後、歓迎会を兼ねた食事会を行い、ホテルに帰ってミーティングを行いました。実質的な大会担当の東北クラブの文載圭先生から、大会スケジュールや試合会場について詳細な説明があり、解散しました。

いよいよ大会当日、8日（土）。9時より個人戦から開始され、50歳以上の団体戦まで行われました。当クラブ選手は、試合に向けて当クラブメンバー同士で基本打ち稽古及びお互い稽古を行い、気合を入れて試合に臨み、それぞれが日ごろ鍛えた技と力をいかに発揮しました。結果は「高齢者が大活躍」ということ状況でした。以下に敬称を省略して紹介いたします。

個人戦では、60歳以上の部で、優勝は近畿地区クラブの田頭啓史選手、2位は関東地区クラブの向後昭雄選手、3位は中国地区クラブの上野和雄選手で、当クラブが独占しました。その他の選手も検討しましたが、惜しくも入賞は果たせませんでした。

団体戦では、60才以上の部で関東地区クラブチーム（永田敬生選手、向後昭雄選手、鶴田直樹選手）が優勝しました。近畿地区クラブチーム（松岡博文選手、蛭子稔選手、田頭啓史選手）は惜しくもベスト8、中国地区クラブチーム（寺本昭彦選手、佐々木幹彦（東北）、上野和雄選手）は勇猛果敢に試合に臨みましたが、思うような結果にはなりませんでした。

翌日、9日は団体戦の続きが行われました。当クラブからは壮年の部（35才～49才）において、矢田治久選手、浅野貴博選手、文載圭選手、平岩香織選手、廣瀬智之選手の男女混交チームが参加しました。選手と応援者全員が一致団結して気合を入れて出陣・応援に入り、2回戦までは順調に勝ち進みましたが、3回戦で優勝候補の韓国チームと対戦し、奮闘・応援むなしく敗退となりました。そのような中、浅野選手は若さと体格の良さを活かして大いに活躍し、平岩選手も若い男性に対しても引けを取らず、積極的に攻めて健闘しました。

韓国剣道の傾向として、動き、スピード、パワーの向上が非常に感じられました。日本伝剣道を継承する我々としては、自らの剣道稽古環境等を振り返り、よりよい剣道の未来に向けて、心を引き締めて精進をしなければならないと強く感じました。

歓迎パーティーとさよならパーティーも、盛大に行われました。試合会場の緊張感とは異なり、韓国舞踊の扇の舞に魅了され、美味しい韓国の料理とお酒をしっかりと堪能し、交剣知愛を大いに深め、懇親の花が咲き乱れました。

大会終了の翌日、10日(月)は、ソウル市内の広蔵市場を観光・ショッピングし、美味しい参鶏湯の昼食を楽しみました。その昼食会には、韓国社会人剣道連盟の呉正泳会長もご多忙の中、参加してくださいました。その後、17時から稽古会、19時から最後の夕食会、さらにホテルに帰ってからの二次会も開催され、楽しい一日を過ごしました。

次は11月に、中国地区クラブの主管により広島県福山市で開催される全国例会にお迎えする番になります。おもてなしや交流はもちろん、剣道の試合及び稽古においても模範を示さなければなりません。残り少ない準備期間ですが、全国例会に向けて精進稽古に励み、「さすがに日本、やることがお手本になる」と言われるように頑張りましょう。

結びに、この度の大会、パーティー及び観光等をご案内・実施していただきました韓国社会人剣道連盟の呉正泳会長をはじめ、各スタッフ皆様方の心温かいおもてなしと、韓国との橋渡し並び調整いただきました文載圭先生のご尽力等に対して、敬意と感謝を表します。また、参加された選手皆様の今後ますますのご活躍を祈念して、韓国レポートといたします。



開会式



開会式

< 呉会長挨拶 >



< 開会宣言 >



< 選手宣誓 >



試合風景（6月8日：個人戦）

<田頭選手>



<向後選手>



試合風景（6月8日：個人戦）

<蛭子選手>



<上野選手（対 蛭子選手）>



試合風景（6月8日：個人戦）

<松岡選手>



決勝戦<赤：向後選手、白：田頭選手>



試合風景（6月8日：団体戦（60才以上の部））



<永田選手>



試合風景（6月8日：団体戦（60才以上の部））

<向後選手>



<鶴田選手>



表彰式風景（6月8日：個人戦(60才以上の部)）



表彰式風景（6月8日：団体戦(60才以上の部)）



試合風景（6月9日：団体戦(35才以上～49才以下の部））



<矢田選手>



試合風景（6月9日：団体戦(35才以上～49才以下の部）

<浅野選手>



<文選手>



試合風景（6月9日：団体戦(35才以上～49才以下の部)）

<平岩選手>



<廣瀬選手>



稽古会風景 (6月7日)



稽古会風景（6月10日）



懇親会風景

< 6月7日 夕食会 >



懇親会風景

< 6月8日 歓迎パーティー >



懇親会風景

<6月9日 さよならパーティー>



懇親会風景

< 6月10日 お別れ夕食会 >



市内観光

<広蔵市場>



市内観光

<昼食>

